

# 取扱説明書

## AR シリーズルータ用同期 NIC CentreCOM AR023

この度は、CentreCOM AR023 をご購入いただき誠にありがとうございます。本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをしてください。また、お読みになった後も、本書は大切に保管してください。

### 1 梱包内容

- ・ AR023 NIC
- ・ 固定ネジ (x 2 本)
- ・ 取扱説明書 (本紙)
- ・ 製品保証書
- ・ お客様インフォメーション登録カード
- ・ シリアル番号シール

### 2 AR023 (SYN)

AR023 カード<sup>1</sup>は、同期ポート (SYN) を 1 つ持つ NIC です。専用ケーブル<sup>2</sup> (別売) により、V.24 DTE、V.35 DTE、X.21 DTE インターフェース<sup>3</sup>をサポートします。

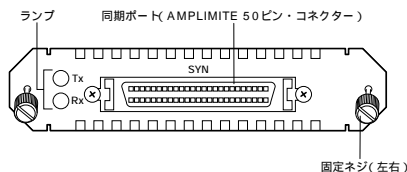


図 2.1

背面パネルのポートやランプの動きは次の通りです。AR023 の基板上には、ジャンパーなどの設定が必要な箇所はありません。

- ・ Tx ランプ 送信時に点灯します。
- ・ Rx ランプ 受信時に点灯します。
- ・ 同期ポート DCE<sup>4</sup> と接続するコネクターです。AMPLIMITE 50 ピン・コネクター<sup>5</sup>が使用され

ており、DCE との接続は専用ケーブルで行います。

- ・ 固定ネジ AR023 をルーター本体に固定するネジです。

### 3 AR023 の取り付け

- 1 ルーター本体の背面の電源スイッチをオフ (側) にしてください。
- 2 AR023 の背面パネルを左手で持ち、ルーター本体の側面のネジ (金属部分) を右手の指で触れて、からだに帯電している静電気を逃がしてください。



確実な安全ためには、リストストラップなどの静電気防止用具を着用ください。静電気が基板上の部品に放電した場合、故障の原因になります。

- 3 AR023 をルーター本体の NIC ベイに取り付けます。NIC ベイのレールに AR023 を沿わせ、カチンとショックがあるまで押し込んでください。<sup>6</sup>
- 4 AR023 の固定ネジ (2 本) を取り付けてください。

### 4 DCE との接続

- 1 DCE の電源スイッチをオフにしてください。
- 2 ルーター本体の電源スイッチをオフにしてください。ルーター本体に AR023 が取り付けられていない場合は、「3 AR023 の取り付け」の手順にしたがって取り付けてください。
- 3 DCE のコネクターに AR023 接続の専用ケーブルを接続し、固定ネジをしめてください。

4. Data Communication Equipment、ユーザー機器をネットワークに接続するための接続点を提供する機器。DSU やモデムなど。
5. SCSI-2 で使用されるコネクターと同じです。
6. ルーター本体から AR023 カードを取り外す場合、まず SYN ポートからケーブルを外し、ルーター本体の電源をオフしてから AR023 カードを抜いてください。ルーター本体の電源がオンのまま AR023 を取り外すと、AR023 の故障の原因となります。

1. 専用線、フレームリレーに対応 (ISDN 回線モードの TA はサポートしていません)。
2. 「6 接続ケーブル仕様」をご覧ください。
3. DCE から供給される ST2 クロック (外部クロック) に従い動作します。V24、V35 インターフェースにおける ST1 クロック信号 (DTE DCE) の供給はサポートしていません。

- 4 専用ケーブルのコネクタを AR023 の SYN ポートに差し込み、カチッと音がするまで押し込んでください。
- 5 ルーター本体の電源をオンにし、「SHOW SYSTEM」 「SHOW SYN<sup>1</sup>」コマンドを入力して AR023 が認識されているか確認します。

## 5 インターフェイス名と番号

AR023 は、ルーターの設定において物理インターフェイス名「SYN」で表されます。

コマンド行で AR023 を特定する場合、「SYN」に番号を付けます。最初の番号は「0」となります。AR023 が 1 つしか取り付けられていない場合でも「0」は省略できません。書式の違いは、コマンドに依存します。

SYN=0、SYN0

### NIC ベイ番号との関連

NIC (物理インターフェイス) をベイに取り付けた場合、物理インターフェイスとベイの番号は次のルールに従います。

ベイの両方に AR023 が取り付けられている場合、BAY0 の AR023 は「0」、BAY1 は「1」となります。

ベイの一方に AR023、もう一方に AR023 以外の NIC が取り付けられている場合、ベイの番号に依存せずどちらの番号も「0」となります。

## 6 接続ケーブル仕様

AR023 を DCE に接続するためには、AR023 用の専用ケーブル (別売) が必要です。専用ケーブルは、次の 3 種類が用意されています。DCE が持つコネクタタイプに応じて、別途ご用意ください。

表 6.1

ケーブル名称	長さ	DCE 側ネジ仕様
ARCBL-V24DTE (RS232)	2m	ISO 標準 IS2110 準拠 (固定ネジ: M2.6)
ARCBL-V35DTE	2m	ISO 標準 IS2593 準拠 (固定ネジ: 2.99mm ピッチ 0.7938mm)
ARCBL-X21DTE	2m	ISO 標準 IS4903 準拠 (固定ネジ: M3)

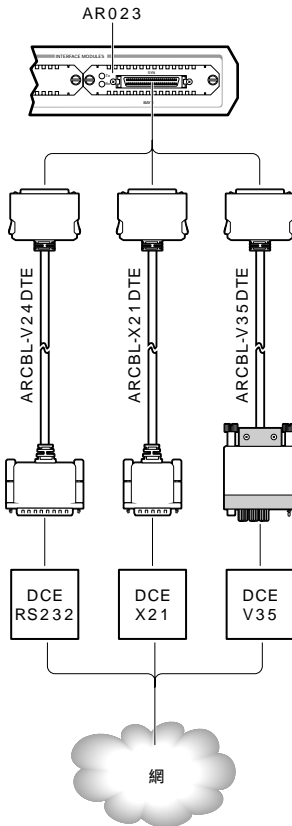


図 6.1

1. AR023 は、各種の専用ケーブルを接続することにより、専用ケーブルが持つインターフェイス仕様として動作します。AR023 に専用ケーブルが接続されていないとき、AR023 は、X.21 のインターフェイス仕様で設定されます。